



# じょうそう

編集・発行  
常総地方広域市町村圏事務組合  
守谷市野木崎2522番地  
TEL.0297(48)2339  
<http://www.jyouso-koiki.or.jp>

## 急ピッチで進む新ごみ処理施設建設



- ① 2号キルン炉
- ② 薬剤貯留タンク
- ③ 3号キルン炉

環境センター屋上から見た工事現場全景



2号キルン(熱分解ドラム)の設置作業

常総環境センター新ごみ処理施設建設工事は、平成20年度から平成24年度の5年間で新施設を建設し、新施設稼働後に既存施設を解体するスケジュールで行われています。

平成20年度は設計図書を作成、建設位置にあたる運動公園内の遊具施設等の撤去、現常総環境センター内の仮設計量機などの準備工事を行いました。

新施設については、安全性や事業の妥当性について約6カ月間工事を中断して検証しました。その結果、システムの安全性、建設費についての妥当性が確認されたので、平成21年6月から工事を再開しました。工事再開後は現場事務所を設置、新施設建設に伴う造成工事を行いました。

平成22年3月からは土木建築工事が本格化し、杭打ち工事、掘削工事などの土木工事に始まり、鉄筋工事、型枠工事、鉄骨工事などの建築工事を行っています。

〔現在の工事状況〕  
平成22年10月現在で全体工程の約20%まで進み、平成24年度の完成を目指して日々急ピッチで工事が進んでいます。また、これから設置される機器類は、全体の約70%が発注済みで各工場で作成されており、建物の工事に合わせて順次、搬入設置していきます。

焼却施設と資源化施設からなる新工場は、現在2階部分まで鉄骨が組みあがり、床も出来上がっています。また、機器の設置も次々と始まり、8月には1階部分に焼却施設の残渣冷却コンベヤ、資源化施設には圧縮機・梱包機等が設置され、10月には焼却施設の中核となるキルン(熱分解ドラム)が入り、550トンの大型クレーンを使い設置工事が行われました。

〔今後の予定とお願い〕  
今後の予定は、来年の3月頃までには全体工程の約40%まで進み、最上階の6階まで鉄骨が組みあがり、床も大部分が完成します。機器の搬入も合わせて行われ、焼却施設の主要機器であるボイラー、燃焼溶融炉、集じん設備等が据え付けられる予定です。

資源化施設には、破碎機、各種コンベヤ類、選別機等の機器が据え付けられます。

環境センターに御用のある方は、本格的な工事により構内が大変せまくなっていますので、現場係員の指示に従ってください。また、大型の工事車両が運行していますのでご注意ください。

利用者の皆様にはご迷惑をお掛けしてありますが、引き続きご協力をお願いします。

### ご意見、ご要望をお気軽にお電話下さい。

- 常総地方老人福祉センター「白寿荘」 ☎ 0297(48)3217
- 常総環境センター ☎ 0297(48)2314
- 常総運動公園 ☎ 0297(48)5675
- 常総広域消防 ☎ 0297(23)0119
- 消防テレホンサービス ☎ 0297(22)0119  
(常総(旧石下地区を除く)・守谷・つくばみらい地区)
- 常総広域視聴覚ライブラリー ☎ 0297(48)2339
- 県南総合防災センター ☎ 0297(83)2776

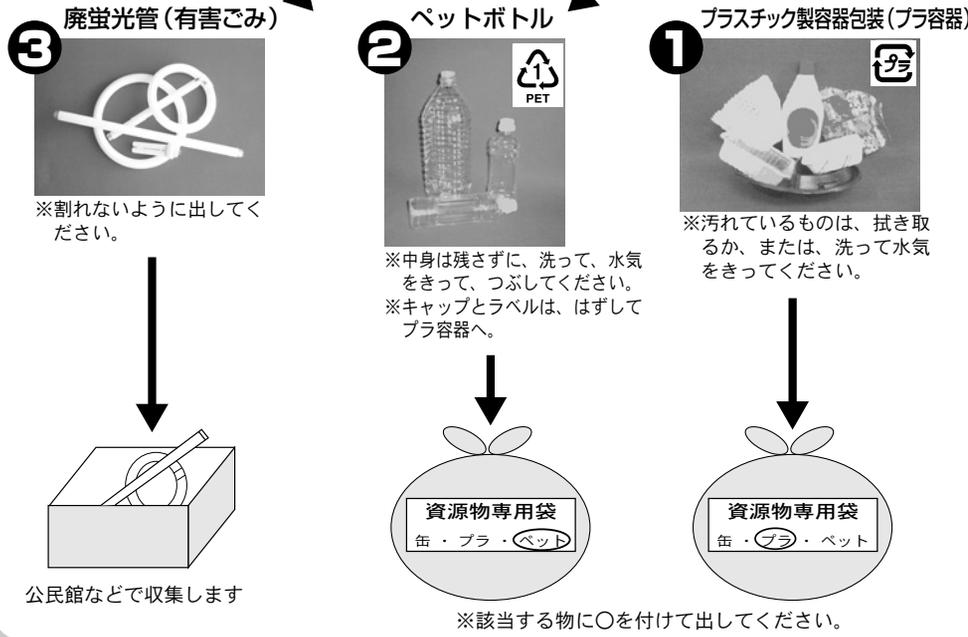
# 新ごみの分別方法

## 不燃ごみとして残るもの

- ・コップ、瀬戸物など…割れ物類
- ・かばん、靴など…皮革・ゴム製品
- ・CD、ナイロンたわしなど…容器包装以外のプラスチック製品
- ・ドライヤー、電気カミソリなど…小型家電製品
- ・その他、これまで不燃ごみで収集された物でプラスチック容器、PET、蛍光管のいずれにも該当しない物



不燃ごみ専用袋



# ごみ減量化への取り組み

常総環境センターでは、ごみを少しでも減らすため、平成21年に圏域内各市の代表者などで構成される「ごみ減量化プロジェクト」を設置し、リデュース(ごみが出ないよう工夫する)、リユース(ごみにしないでくり返し使う)、リサイクル(再び資源として利用する)を考えながら、次のような事柄に取り組んでいます。

## 新ごみ分別による資源化推進

常総環境センターでは、現在5種13分別によるごみ処理を行っています。これらのごみを更に細分化することによる資源化の推進を図るため、第三次ごみ処理施設の稼働に

合わせ平成24年度より、これまで不燃ごみで出していた①「プラスチック製容器包装(プラスチック)」と②「ペットボトル」・③「廃蛍光管」を新たに資源物や有害ごみとした5種16分別に移行することを検討しています。

新しいごみの分別方法は、左図のように、  
 ① プラ容器は、プラマークを目印にして、資源物専用袋に入れて、袋の「プラ」に丸をつけて出します。  
 ② ペットボトルは、ペットマークを目印にして、袋の「ペット」に丸をつけて出してください。  
 ③ 廃蛍光管は、公民館など決められた収集場所へ、割れないように出してください。  
 目印と分別方法の詳細は、以下のとおりですが、ペットボトルやプラスチックは汚れているとリサイクルできませんので、皆様には、より一層のご協力をお願いします。

## 2 ペットボトル



PETマークを目印に分別します。ただし、同じ材質でも中に入っているもの(例:ソースや油類など)によっては、ペットボトルとしてリサイクルできませんので、キャップやラベルと同じプラスチック製容器包装(プラスチック)として出します。これらは原材料や化学原料としてリサイクルされます。

分別方法	備考
1 “ペットボトル”マークが付いているもの 	容器のラベル又は底面に識別のマークが記載
2 中身は残さずに 3 キャップは必ず取り、ラベルを剥がす 	キャップとラベルはプラスチックへ
4 洗って、水気を切って、つぶす 	残り水を活用

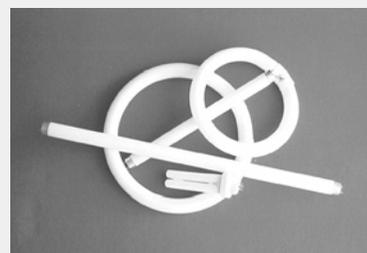
## 1 プラスチック製容器包装(プラスチック)



食品や日用品を入れたプラスチック製の容器や包装物のことで、プラマークを目印に分別します。これらは原材料や化学原料としてリサイクルされます。

分別方法	備考
1 “プラ”マークが付いていることを確認 	容器本体の裏面、底面またはラベルに識別マークが記載
2 中身は使い切って 	内容物、付着物が無いようにする
3 汚れているものは、拭き取る、または洗って水気を切る 	残り水を活用

## 3 廃蛍光管



蛍光管の中には微量の水銀が含まれていることから、有害ごみ扱いとなります。直管・環形(円形)・電球型・コンパクトの各タイプが対象です。ただし、割れたものや白熱球、LED球については不燃ごみとして出します。これらは、原材料分野でリサイクルされます。

## 生ごみ堆肥化事業の推進

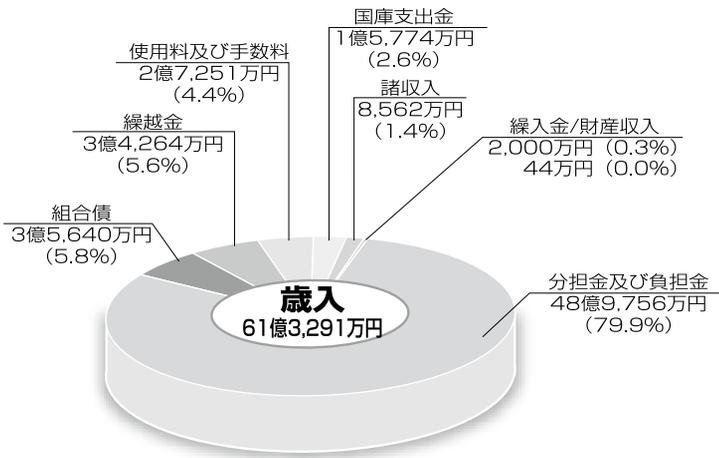
可燃ごみの約半分を占める生ごみを可燃ごみから分別収集し、堆肥化することで、ごみの減量化と焼却による環境への影響を抑えることが期待できます。環境センターでは、現在、守谷事業所と取手事業所において生ごみの堆肥化事業を実施しています。

平成21年度は、構成4市のモデル地区において、5,478世帯の協力により、年間約560トンの生ごみを処理し、ごみの減量が図られました。

環境センターでは、これからも両事業所の処理能力やシステムの改善及び排出・収集・運搬体制などの内容を検討しながら、地域性にそった効率良い堆肥化事業を推進していきます。

# 平成21年度決算の概要

平成21年度常総地方広域市町村圏事務組合の一般会計歳入歳出決算は、歳入61億3,291万円（対前年比8.0%増）、歳出57億9,515万円（対前年比8.6%増）となり、歳入と歳出の差引額は3億3,776万円です。

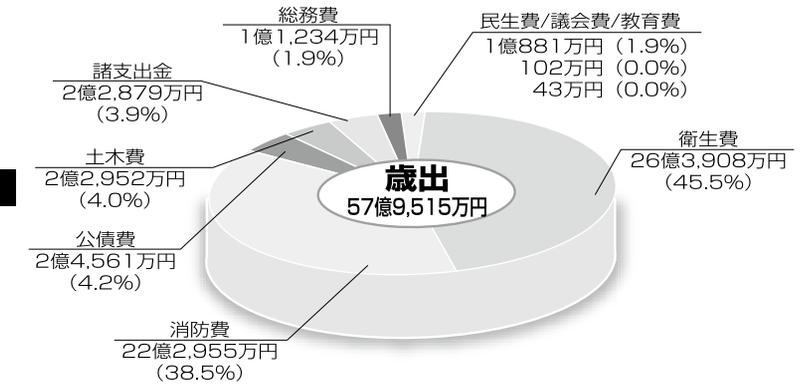


## 歳入内容

- 分担金及び負担金：構成4市からの負担金
- 組合債：ごみ処理施設整備、福祉施設整備・高規格救急自動車購入の借入金
- 繰越金：前年度繰越金
- 使用料及び手数料：常総運動公園・白寿荘の施設使用料、自動販売機設置使用料等、ごみ処理・危険物取扱手数料
- 国庫支出金：ごみ処理施設更新事業に対する国からの交付金
- 諸収入：資源物売却、廃プラスチック固形燃料売却、銀行預金利子、高速道路救急事業支弁金等
- 繰入金：常総環境センター建設基金からの繰入金
- 財産収入：常総環境センター建設基金の銀行預金利子

## 歳出内容

- 衛生費：常総環境センター管理運営経費、ごみ処理施設更新事業費
- 消防費：消防の管理運営経費、高規格救急自動車購入費
- 公債費：組合借入償還金
- 土木費：常総運動公園の管理運営経費
- 諸支出金：常総環境センター建設基金への積立金
- 総務費：総括的運営調整経費、職員共同研修経費、公平委員会・監査・防災センターの運営経費等
- 民生費：白寿荘の管理運営経費、障害者施設整備費、白寿荘建替事業費
- 議会費：議会関係の運営費
- 教育費：教育委員会運営経費、視聴覚ライブラリー管理運営経費



## 議会報告

- ◇組合議会定例会(3月30日)
  - ・平成21年度組合一般会計補正予算(第4号)(可決)
  - ・(歳入歳出3千2百59万1千円増額し、予算総額61億4百76万円とした)
  - ・平成22年度組合一般会計予算(可決)
  - ・(歳入歳出1百27億5千2百22万5千円の一般会計)外2議案可決
  - ・ゴミ有料化の実施中止を求める請願(継続審査)
- ◇組合議会臨時会(4月13日)
  - ・常総環境センター暫定廃プラスチック圧縮梱包固形燃料製造事業について茨城県指しに関する意見書(可決)
  - ・外1議案可決
- ◇組合議会臨時会(7月5日)
  - ・高規格救急自動車購入契約の締結(可決)
  - ・(水海道消防署北出張所配備車で契約額3千46万円)外4議案可決・選任同意
- ◇組合議会臨時会(8月24日)
  - ・(仮称)常総地方福祉センター建築工事請負契約の締結(可決)
  - ・(契約額6億4千50万円)
  - ・(仮称)常総地方福祉センター機械設備工事請負契約の締結(可決)
  - ・(契約額2億2千7百58万7千5百円)
- ◇組合議会定例会(10月19日)
  - ・平成21年度組合一般会計歳入歳出決算(認定)
  - ・(歳入61億3千2百91万1千7百5円、歳出57億9千5百15万1千3百32円の認

定)外2議案可決・承認

・ゴミ有料化実施中止を求める請願(継続審査)

・常総広域ゴミ処理施設費用負担の軽減と、安全を求めて進行中の焼却炉建設を中断し、既存炉の基幹改修を求める請願(不採択)

## 募集のお知らせ

常総地方老人福祉センター「白寿荘」

《開催日》平成23年2月2日(水)

《内容》白寿荘が依頼した講師により出品された作品の審査を行い、作品の講評や指導を行ないます。なお、出品作品は2月11日(金)まで会議室で展示いたします。

《募集期間》平成22年12月24日～平成23年1月13日

《募集人員》各市約15名

《募集期間》平成23年1月4日～1月17日

《開催日》平成23年3月10日(木)

《内容》日頃のカラオケ練習の成果を発表し、皆様で競っていただきます。

《募集人員》各市約15名

## 白寿書道展

《開催日》平成23年2月2日(水)

《内容》白寿荘が依頼した講師により出品された作品の審査を行い、作品の講評や指導を行ないます。なお、出品作品は2月11日(金)まで会議室で展示いたします。

《募集期間》平成22年12月24日～平成23年1月13日

《募集人員》各市約15名

《募集期間》平成23年1月4日～1月17日

《開催日》平成23年3月10日(木)

《内容》日頃の練習の成果を発表し、皆様で競っていただきます。

《募集人員》各市約15名

## 白寿のど自慢民謡大会

《開催日》平成23年2月17日(木)

《内容》日頃の練習の成果を発表し、皆様で競っていただきます。

《募集期間》平成23年1月4日～1月17日

《開催日》平成23年3月10日(木)

《内容》日頃のカラオケ練習の成果を発表し、皆様で競っていただきます。

《募集人員》各市約15名

## 常総運動公園

第30回常総広域圏小学生なわとび競技大会

参加者募集

《開催日》平成23年2月27日(日)

《大会会場》常総運動公園総合体育館

《申込方法》平成23年1月に各学校宛に参加申込書を郵送します。参加希望者は学校から参加申込書をいただき、必要事項を記入し(保護者の承諾が必要)平成23年2月4日(金)までに学校に提出してください。

《大会日程》開会式 9時30分

## 指名願の受付

平成23・24年度に組合が発注する工事の請負、物品の納入等の入札、見積等への参加希望者の指名願(一般指名)競争入札参加資格審査申請書を受け付けます。

◆組合事業内容

- ・常総環境センター
- ・常総広域消防本部
- ・老人福祉センター
- ・常総運動公園
- ・視聴覚ライブラリー
- ・県南総合防災センター

◆提出書類

・工事請負、コンサルタント業務は、全庁統一様式に組合指定書類を添付し、物品納入等は、組合指定を使用し、提出して下さい。

なお、各業種ごとに必要書類が異なりますので、組合で配布する申請書類提出要項(11月下旬頃配布予定)をご参照下さい。(要項は、組合ホームページからもダウンロードできます)

◆受付期間

平成23年1月4日から平成23年2月28日まで(土曜日、日曜日及び国民の祝日を除きます)

◆提出方法

直接持参して下さい。

◆提出・問い合わせ先

常総地方広域市町村圏事務組合管理課

☎0297(48)2339

二重とび 10時開始

時間とび予選 11時30分開始

時間とび決勝 12時30分開始

※二重とび・時間とび両種目に参加できます。

# 「白寿荘」・「宿泊」温浴施設建設スタート

子供から高齢者までどなたでも利用できる温浴施設である(仮称)常総地方福祉センターの建設工事をスタートしました。

オープンは平成24年4月を予定しており、施設内容は次のとおりです。

### 「温浴施設」

2階・3階に露天・展望・サウナ風呂等の浴室を配置し、

風呂上りの休憩や家族利用者のだんらんにも利用できるスペースとして「リラクゼーションコーナー」を設けました。

### 「宿泊・休憩室」

2階・3階の宿泊・休憩室には、各階洋室3部屋、和室4部屋を配置し、バリアフリーにも対応した、どなたでも快適に利用できる施設となっています。

地域の交流を目指した、地元産朝採り野菜や加工品などの販売スペース。(1階)

現在の常総地方老人福祉センター「白寿荘」は、昭和50年3月開設以来、圏域内高齢者の憩いの場として地域の皆様に、ご利用いただけてきましたが、すでに35年が経過し、老朽化が著しくなってきましたので、ごみ焼却施設の代替にあわせて建設を進めています。これは、新施設において、ごみを焼却した熱を利用して発電した電気と温水を利用するためです。

### 「多目的ホール」

ステージがあり、イベント開催や宴会、休憩ができるスペース。(1階)

## 「(仮称)常総地方福祉センター」完成予想図

さらに、会議や研修に利用できる研修室や食事休憩ができるレストランなどがあります。建設場所は、既存施設「白寿荘」の隣接地です。

### 【施設概要】

- ◆用途 温浴・宿泊施設
  - ◆構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
  - ◆地上3階(M3含む) 地下1階
  - ◆延床面積 2970・81㎡
  - ◆宿泊定員 66名
  - ◆和室8部屋 48名
  - ◆洋室6部屋 18名
- 現在、営業中の「白寿荘」では、これからの季節「忘年会」や「新年会」にご利用いただけます。また、一部空きがありますので、ぜひご利用ください。

## 茨城県ドクターヘリ運航開始

平成22年7月1日、茨城県ドクターヘリが運航開始になりました。

ドクターヘリは、水戸医療センター又は水戸済生会総合病院に待機していますが、消防機関等から要請により、救急医療専門の医師や看護師が搭乗して、直ちに救急現場に向かいます。

ドクターヘリの飛行速度は、時速200キロメートル以上で、出動要請から30分以内には県内のどこにでも到着可能です。「空飛ぶ救急救命センター」として、その活躍が期待されます。

また、ドクターヘリの運用については、地元消防本部との連携プレーが欠かせません。運航開始に先立ち、事前に県内の各消防本部との間で連携訓練が行われました。

なお、10月末現在、当消防本部では、ドクターヘリの出動を2回要請しており、迅速な救急活動に貢献しています。

【お問合せ先】  
常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 防課



茨城県ドクターヘリと消防との連携訓練

TEL 0297-2310  
TEL 903  
◆取手市消防本部 防課  
TEL 0297-7415  
895

## 中学校球技大会

8月18日から22日に常総広域圏内の中学校対抗で球技大会を開催しました。

### ◆軟式野球の部

- 優勝 藤代中(取手市)
- 2位 伊奈東中(つくばみらい市)
- 3位 御所ヶ丘中(守谷市)
- 3位 けやき台中(守谷市)

### ◆サッカーの部

- 優勝 藤代南中(取手市)
- 2位 愛宕中(守谷市)
- 3位 水海道中(常総市)
- 3位 水海道西中(常総市)

### ◆ソフトテニスの部

- 優勝 藤代南中(取手市)
- 2位 小絹中(つくばみらい市)
- 3位 岩井中(坂東市)
- 3位 伊奈中(つくばみらい市)



軟式野球



サッカー

- 優勝 菅田・石浜組(藤代南中)
- 2位 常深・小磯組(小絹中)
- 3位 村上・菊田組(伊奈中)
- 3位 渡辺・吉岡組(岩井中)

- 優勝 仲山・渡邊組(愛宕中)
- 2位 川口・飯泉組(谷和原中)
- 3位 鈴木・田中組(小絹中)
- 3位 飯塚・尾高組(愛宕中)